



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 システム・テクノロジー・アイ
コード番号 2345 URL <http://svstech-i.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

(氏名) 松岡 秀紀
(氏名) 内山 富士子

TEL 03-5148-0400

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	414	△29.2	△54	—	△56	—	△52	—
23年3月期第2四半期	584	△9.5	△43	—	△44	—	△31	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △52百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △31百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△3,934.47	—
23年3月期第2四半期	△2,396.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,369	1,273	92.7
23年3月期	1,425	1,324	92.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,268百万円 23年3月期 1,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	965	△9.9	△27	—	△31	—	△32	—	△2,428.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	13,353 株	23年3月期	13,351 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	21 株	23年3月期	21 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	13,330 株	23年3月期2Q	13,322 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により日本経済は大きく落ち込んだものの、生産、輸出を中心に大幅に改善されてきております。しかしながら海外経済の減速、歴史的な円高により先行きの景況感に対する不安は増加しております。

このような状況の中、当社グループでは、企業をターゲットにしたペーパーレスソリューション製品の開発、IT技術者をターゲットにした資格取得応援キャンペーンの展開、企業のニーズに迅速に対応できる人材ビジネスの体制強化に注力してまいりましたが、売上高、利益とも計画を下回りました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、414百万円（前年同期比29.2%減）、営業損失54百万円（前年同期は43百万円の損失）、経常損失56百万円（前年同期は44百万円の損失）、四半期純損失52百万円（前年同期は31百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

〔iLearning事業〕

iLearning事業につきましては、第1四半期に引き続きペーパーレスソリューション製品である低価格超小型のペーパーレス会議サーバー「iStudy E-Server Mini」のリード獲得増加及び各メディアへの販促活動を積極的に行いました。当第2四半期での受注獲得に向け注力していた「iStudy Enterprise Server」関連案件が下半期以降にずれ込んだことにより売上高、利益とも計画を大きく下回りました。

その結果、売上高208百万円（前年同期比36.0%減）、セグメント損失43百万円（前年同期は16百万円の損失）となりました。

〔Learning事業〕

Learning事業につきましては、7月に日本オラクル社がオラクル研修ビジネスに貢献したパートナーを表彰する「Oracle University 表彰式」において最優秀パートナーに与えられる「Excellent Partner 2011」を受賞いたしました。

第1四半期では、震災の影響により売上高が計画を大幅に下回ったものの、オラクル定期研修の申込みが徐々に回復し、9月の売上高は前年同月比で10%増加し好調に推移いたしました。またオラクル定期研修において当社銀座会場への直接申込みが増加したことにより、売上原価率が低下いたしました。

その結果、売上高147百万円（前年同期比18.6%減）、セグメント利益10万円（前年同期は2百万円の利益）となりました。

〔人材紹介・派遣事業〕

人材紹介・派遣事業につきましては、引き続き厳しい状況が続いておりますが、企業のニーズに迅速に対応するため技術部門及び営業部門の体制強化を図ってまいりました。それにより人材紹介案件が計画通りに推移しセグメント損失は、前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、売上高57百万円（前年同期比25.0%減）、セグメント損失5百万円（前年同期は12百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて56百万円減少し、1,369百万円となりました。これは、主に売掛金17百万円、のれんの償却額16百万円、商品21百万円の減少によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べて5百万円減少し95百万円となりました。これは、主に前

受金7百万円の減少、リース債務3百万円の増加などによるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて51百万円減少し1,273百万円となりました。これは、主に利益剰余金52百万円の減少によるものであります。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて23百万円減少し、333百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、0百万円（前年同四半期は31百万円の収入）となりました。これは収入では、たな卸資産の減少による収入21百万円、減価償却費14百万円、のれん償却額16百万円、売上債権の減少による収入17百万円等があり、支出では、税金等調整前四半期純損失56百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、23百万円（前年同四半期は14百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金への預入れによる支出20百万円、固定資産の取得による支出4百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、0百万円（前年同四半期は12百万円の支出）となりました。これは、リース債務の返済による支出0百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成23年4月28日に公表しました平成24年3月期の連結業績予想を修正し、売上高965百万円、営業損失27百万円、経常損失31百万円、当期純損失32百万円といたしました。詳しくは、平成23年10月26日に公表した、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	455,877	452,036
売掛金	120,426	103,336
有価証券	10,118	10,121
商品及び製品	22,334	1,035
前払費用	13,228	18,073
関係会社短期貸付金	150,000	150,000
その他	6,168	10,380
貸倒引当金	△674	△178
流動資産合計	777,481	744,805
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,502	9,646
工具、器具及び備品(純額)	19,097	18,962
リース資産(純額)	—	3,770
有形固定資産合計	29,600	32,379
無形固定資産		
のれん	537,099	516,603
ソフトウェア	31,681	26,788
その他	1,487	1,472
無形固定資産合計	570,269	544,864
投資その他の資産		
敷金及び保証金	47,489	46,108
その他	3,211	3,107
貸倒引当金	△2,122	△2,116
投資その他の資産合計	48,578	47,100
固定資産合計	648,447	624,344
資産合計	1,425,928	1,369,149
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,232	28,700
未払金	20,998	18,195
前受金	18,464	10,644
前受収益	26,197	22,480
未払法人税等	1,579	1,416
未払消費税等	680	4,629
その他	5,111	5,767
流動負債合計	100,265	91,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
固定負債		
繰延税金負債	37	31
退職給付引当金	628	609
リース債務	—	3,139
固定負債合計	665	3,780
負債合計	100,931	95,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	347,161	347,234
資本剰余金	982,610	982,682
利益剰余金	△7,947	△60,397
自己株式	△750	△750
株主資本合計	1,321,074	1,268,768
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	—	—
新株予約権	3,923	4,765
純資産合計	1,324,997	1,273,533
負債純資産合計	1,425,928	1,369,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	584,812	414,106
売上原価	385,651	247,663
売上総利益	199,161	166,442
販売費及び一般管理費		
役員報酬	34,700	32,240
給料手当及び賞与	81,894	75,540
法定福利費	13,969	12,179
広告宣伝費及び販売促進費	12,218	8,893
賃借料	20,716	17,989
支払報酬	12,867	11,562
減価償却費	8,997	8,937
のれん償却額	16,356	16,356
その他	40,905	37,173
販売費及び一般管理費合計	242,626	220,873
営業損失(△)	△43,464	△54,430
営業外収益		
受取利息	1,194	1,019
無効ユニット収入	1,736	495
その他	715	72
営業外収益合計	3,646	1,588
営業外費用		
証券事務取扱手数料	3,661	3,152
その他	523	512
営業外費用合計	4,185	3,665
経常損失(△)	△44,004	△56,508
特別利益		
貸倒引当金戻入額	378	—
退職給付引当金戻入額	1,529	—
特別利益合計	1,907	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△42,096	△56,508
法人税、住民税及び事業税	430	249
法人税等調整額	△10,603	△4,307
法人税等合計	△10,172	△4,058
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△31,924	△52,450
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△31,924	△52,450

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△31,924	△52,450
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△31,924	△52,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△31,924	△52,450
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△42,096	△56,508
減価償却費	15,760	14,352
のれん償却額	16,356	16,356
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△151	△502
長期前払費用償却額	319	190
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,529	△18
受取利息及び受取配当金	△1,194	△1,019
為替差損益(△は益)	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	50,623	17,096
たな卸資産の増減額(△は増加)	△38,338	21,299
仕入債務の増減額(△は減少)	29,767	1,468
その他	△2,094	△12,623
小計	27,423	90
利息の受取額	277	102
法人税等の支払額	△11,990	△328
法人税等の還付額	16,149	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,859	△136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△14,113	△4,627
定期預金の増減額(△は増加)	△146	△20,047
その他	△271	988
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,531	△23,687
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	98
配当金の支払額	△12,763	△28
リース債務の返済による支出	—	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,763	△65
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,563	△23,889
現金及び現金同等物の期首残高	436,488	357,727
現金及び現金同等物の四半期末残高	441,051	333,838

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	iLearning 事業	Learning 事業	人材紹介・派遣 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	326,504	181,054	77,253	584,812	—	584,812
セグメント間の内部 売上高又は振替高	347	—	55,153	55,501	△55,501	—
計	326,851	181,054	132,407	640,314	△55,501	584,812
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△16,276	2,041	△12,203	△26,438	△17,026	△43,464

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△17,026千円には、セグメント間取引消去△669千円、のれん償却額△16,356千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	iLearning 事業	Learning 事業	人材紹介・派遣 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	208,819	147,313	57,973	414,106	—	414,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	157	242	6,309	6,709	△6,709	—
計	208,977	147,556	64,282	420,815	△6,709	414,106
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△43,221	10,142	△5,923	△39,002	△15,428	△54,430

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△15,428千円には、セグメント間取引消去928千円、のれん償却額△16,356千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。